



## 奄美大島において国内で6例目となる チャガシラカモメが観察されました

- ・ 奄美大島においてチャガシラカモメが観察されました
- ・ チャガシラカモメは非常にまれな迷鳥で、国内では過去に5例の観察があり今回は6例目、南西諸島では初めての観察となります

2025年1月12日と13日に、鹿児島県奄美市笠利町の大瀬海岸で、第一著者の里村茂さんが1羽のカモメの仲間を観察しました。形態的な特徴から、この個体はチャガシラカモメであると判断されました。13日午後の観察を最後に見られなくなりました。



大瀬海岸で観察されたチャガシラカモメ  
虹彩が白っぽく、目のうしろに黒斑、初列風切（翼）の外側2枚の先端に白斑（ミラー）があるのが特徴的。嘴と脚は赤色。  
2025年1月、里村茂撮影。



チャガシラカモメは国内でこれまでに5例の観察があり、今回は6例目、南西諸島では初めての観察となります（表、次ページ）。

チャガシラカモメは主にチベット高原（標高3,000–4,500m）にある大きな湖の島や湿地で繁殖します。越冬地は南アジアおよび東南アジアで、パキスタンからタイにかけてのインド洋沿岸やその近くの湖、河口に数百羽の群れを形成して過ごします。東アジアでの越冬は少なく、中国南部の沿岸域の越冬地は広東省西部から香港あたりが東端であり、香港では定期的に記録はあるが数は少ないとされています。



観察 No.	観察年月日	観察場所	根拠となる文献
1	2002年5月30日	千葉県銚子市銚子第三漁港、茨城県波崎町(現神栖市)波崎新港	大関・楠窪(2005)；日本鳥学会(2024)
2	2023年2月4日、2月5日	鹿児島県枕崎市花渡川河口	枕崎市教育委員会生涯学習課(2023)；高木(2025)
3	2023年3月4日－3月11日	茨城県神栖市波崎新港、千葉県銚子市銚子第三漁港	福田(2023)；高木(2025)
4	2023年3月12日－5月3日	愛知県蒲郡市春日浦海岸から同市西田川河口にかけての海岸線	高木(2025)
5	2024年3月1日、3月4日	東京都八丈町底土海水浴場	東京都八丈ビジターセンター(2024)
6	2025年1月12日、1月13日	鹿児島県奄美市笠利町大瀬海岸	本報告

より東の台湾では迷鳥、韓国では1個体が2023年3月5日に初めて観察されています。この分布を考えると、日本列島は主要な越冬地から東に遠く離れており、渡りの中継地にもなり得ないため、本種の国内での観察は非常にまれな迷行記録であるといえます。

### 論文情報

タイトル：鹿児島県奄美大島におけるチャガシラカモメの観察記録

著者：里村茂・水田拓

掲載誌：日本鳥学会誌第75巻第1号 pp. 135–140、2026年5月22日発行

DOI：https://doi.org/10.3838/jjo.75.135

### 引用文献

福田篤徳（2023）チャガシラカモメ．日本野鳥の会茨城県会報ひばり（376）：20.

枕崎市教育委員会生涯学習課（2023）枕崎市地域学校協働活動だより 令和5年3月号.

日本鳥学会（2024）日本鳥類目録改訂第8版．日本鳥学会，東京.

大関義明・楠窪のり子（2005）千葉県銚子市，茨城県波崎町におけるチャガシラカモメ *Larus brunnicephalus*. 日鳥学誌54: 53–55. doi.org/10.3838/jjo.54.53

高木慎介（2025）愛知県蒲郡市で確認された県内初記録となるチャガシラカモメ *Chroicocephalus brunnicephalus*（チドリ目カモメ科）．豊橋市自然史博物館研報（35）：43–47.

東京都八丈ビジターセンター（2024）チャガシラカモメ飛来！ こっこめ通信（275）：2.

### この件についてのお問い合わせ先：

公益財団法人 山階鳥類研究所

千葉県我孫子市高野山115

電話：04-7182-1101

担当：広報 山岡（Eメール：pressrelease@yamashina.or.jp）

・写真のデジタルデータをご希望の方もお問い合わせください。